

古賀市文化芸術振興計画 後期アクションプラン

2019-2023

古賀市
古賀市教育委員会

2019年3月



「古賀市文化芸術振興計画」とは？

文化芸術が持つ力をいかして、市民、団体、行政が活動を行うことで古賀市を元気にすることを目的として、平成26年3月に策定した計画です。

「古賀市文化芸術振興計画」では、目的を達成するためにどんな方法を考えている？

古賀市文化芸術振興計画では上記目的を達成するためのテーマとして「**起こす 興す おこす**」文化芸術を通して、個性を起こし、新たな魅力を興し、誇りをおこす」を掲げています。

第1段階：文化芸術活動を支える環境づくりをする。

第2段階：古賀市の個性を起こす。古賀市の新しい魅力を興す。

第3段階：文化芸術を通して、個性を起こし、新しい魅力を興すことで、誇りをおこす。

第4段階：おこした誇りが古賀市を愛する心となることで地域に貢献する気持ちが生まれ、ひいては市民一人ひとりが文化芸術の振興とともにまちづくりを担う一員であることを自覚し、古賀市文化芸術振興計画の目的である「文化芸術をいかして人やまちを元気にする」ことにつながる。

(※古賀市文化芸術振興計画の詳細は別頁「古賀市文化芸術振興計画の概要」をご覧ください。)

「アクションプラン」とは？

古賀市文化芸術振興計画に基づき、古賀市における文化芸術振興を計画的に推進するために市民、団体、行政が取り組んでいく具体的な活動を明記したものです。

アクションプランの見直しとは？

当初のアクションプランは古賀市文化芸術振興計画を策定した時に作りました。古賀市文化芸術振興計画中には、10年計画の中間年である平成30年に古賀市文化芸術振興計画の進捗を確認し、後期のアクションプランを見直すことが記されているため、これに基づき、古賀市文化芸術審議会に古賀市文化芸術振興計画の進捗を確認していただいたうえで、必要な部分についてアクションプランを見直しました。

アクションプランに書いている市民、団体、行政の定義は？

市民は古賀市に在住、通勤通学する及び市内を活動の場とする個人のことです。団体は古賀市内の企業、学校、民間非営利団体及び地域団体のことです。行政は古賀市役所のことです。

アクションプランの「行政がおこす」に書いている長期、中期、短期の定義は？

長期は達成期間として8～10年を目標としている項目です。中期は達成期間として4～7年を目標としている項目です。短期は達成期間として1～3年を目標としている項目です。

●発行：古賀市・古賀市教育委員会
●問い合わせ先：古賀市文化課文化振興係
tel 092-940-2683 fax 092-944-6215
mail bunka@city.koga.fukuoka.jp

古賀市文化芸術振興計画が進行中です！



Q: 文化芸術振興計画って何？

A: それはね、文化や芸術で古賀市や、住んでいる人々を元気にしようという計画のことだよ。



Q: 文化芸術にはどんなものがあるの？

A: 文化芸術は、音楽や演劇、写真や絵画、文化財や祭だけでなく、映画やファッション、漫画やアニメーションだって文化芸術なんだよ。



Q: 文化芸術ってなんだか難しそう。僕たちには無理かな？

A: そんなことないですよ。歌ったり、物を作ったり、おしゃべりを楽しんだり、普段していることも、文化芸術なんですよ。文化芸術はいつもみんなの身近にあるんですよ。



Q: 文化芸術で本当に人やまちが元気になるのかな？

A: 最近、多くの自然災害が発生しています。本当に、多くの人が傷つき、日本全体が元気をなくしたよね。そんな時、音楽や絵画、芸能や祭、文学などのさまざまな文化芸術活動が、多くの人の心を励まし、元気づけたんだよ。文化芸術は大きな力を持っているんだよ。



Q: わたしたちも何か出来ることがあるのかな？

A: まずは、文化芸術を好きになって、いっぱい楽しんでほしいな。積極的に文化芸術に関わっていくことが大切だよ。



前期（平成26～30年度）5年の活動報告

古賀市文化芸術振興計画の前期5年でこのような事業を行いました。

○船原古墳 国史跡に指定

→古墳と、豪華な遺物が大量に出土した遺物埋納坑の歴史的価値を踏まえて、船原古墳が国史跡に指定されました。【写真①】

○古賀市生涯学習センター（リーバスプラザこが）オープン

→文化や生涯学習の交流拠点ができました。【写真②】

○アート・バス

→古賀市内の子どもたちをバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行き、本物の芸術に触れる機会を創出しました。【写真③】

○人材育成事業

→文化振興を担う人材の支援として、新しい団体の創生を支援しました。【写真④】

○芸術文化の祭典

→古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体が日頃の活動の成果を発表しました。【写真⑤】

○童謡まつり

→子どもたちからシニアまで、公募により集まった幅広い年代の皆様が心に残る童謡を披露しました。【写真⑥】

○子ども絵画教室

→古賀寛成館高等学校ベークデザインコースの生徒が先生役となり、子どもたちに絵の描き方を教えました。【写真⑦】

○ナイトミュージアム

→施設をより知ってもらうために、夜の図書館と歴史資料館を子どもたちが探検しました。【写真⑧】





古賀市文化芸術振興計画の概要

目的：文化芸術をいかして人やまちを元気にしよう

誇りをおこす

文化芸術を通して、個性を起こし、新しい魅力を興すことで、自分自身への誇りが生まれます。その誇りは、人生・生活の質(QOL)を高め、自尊感情の高まりにつながり、生きる力となっていきます。また、その誇りは、古賀市を愛する心となり、地域に貢献する気持ちが生まれ、古賀市ならではの個性ある文化芸術の創造につながります。そして、その気持ちをもって、市民一人ひとりが文化芸術の振興とともにまちづくりを担う一員であることを自覚し、身近な問題に気づき、文化芸術に関わる QOL の向上を意識することで、古賀市文化芸術振興計画の目的である「文化芸術をいかして人やまちを元気にしよう」ことにつながります。

文化芸術を通して誇りをおこす

「起こす」「興す」の振興の力をいれ、市民一人ひとりが、個人、団体、古賀市に対する誇りを持ち、その気持ちを高められるよう努めます。

おこした誇りを次世代に引き継ぐ

自分自身だけで完結せず、培った技能や能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会を充実させ、豊かな古賀市を次世代に引き継いでいくことに努めます。

古賀市の個性を起こす

古賀市には文化芸術(美術、音楽、演劇、伝統芸能など)、文化財、自然景観、まち並み、またそれに関わる人など、多くの宝が存在しています。これらの宝について「見つけて」、「いかして」、「伝えて」、「守る」そしてまた「見つけた」という段階を繰り返し、それにより古賀市の個性を起こすよう努めます。

古賀市の新しい魅力を興す

文化芸術が持つ、福祉、教育、観光・産業振興、まちづくりなどに貢献できる力を活用し、古賀市の新しい魅力を創出します。

今ある宝を再認識する

○古賀市の文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材のすばらしさを再認識し、市民が誇れる財産とします。

①宝を見つかる

眠った宝を起こす

- 生活の中にある「ひと、もの、こと」など、市民にとっては当たり前でも、視点を変えると魅力になるものを掘り起こします。
- 地域の魅力など宝の掘り起こしにあたって、特に子どもの視点による新たな切り口を大切にします。

②宝をいかに

- 文化芸術資源、自然景観などの活用策を検討し、文化振興を担う人材を支援するため、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援します。
- 市民が文化芸術活動の場としてさまざまな公共施設や民間施設を活発に利用できるよう、施設活用策や活用に対する支援策を検討します。

③宝を伝える

○古賀市が誇る文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材を市内外に周知するため、捉え方・見せ方の工夫を行い、古賀市の文化的な魅力を広く伝えられるよう積極的発信します。

④宝を守る

○文化芸術資源、自然景観、伝統ある芸能や行事やそれらに関する知識、技能、資料など、古賀市の誇れる宝を後世に残すよう努めます。

①人にやさしいまちづくり

- 子どもの健やかな成長のために文化芸術の力をいかし、子育て世代の保護者を対象とした文化芸術事業を展開する「子育てしやすい文化芸術のまち古賀市」をめざします。
- 文化芸術の力を全ての人がよりよく生きるためにいかすとともに、特に元気なシニア層のパワーを文化芸術のまちづくりに活用します。
- 世代間、市内の各地域間、近隣市町とのつながりや国際交流の場面で、文化芸術を通じた交流を促進します。
- 学校と連携して、子どもたちに文化芸術を体験・鑑賞する機会をつくります。

②ざわめきづくり

- 新たな視点で魅力を発見し、市内外に発信します。
- 「農」と「芸術」、「商」と「文化」などの異なるジャンルを組み合わせることで、お互いの新たな魅力を発見し、活性化を図ります。
- 新たな魅力を発見し、発信できる人材を養成し、新しい文化の仕掛け人やコーディネーターとしていかします。

環境づくり

文化芸術に関わるさまざまな活動の活性化を図るため、情報の収集・提供、人材育成、ネットワークづくりを行い、市民参画の視点を持って、個人・団体間の交流・連携を促進し、活動しやすい環境づくりを推進します。

- 文化芸術に関わる個人・団体間の交流を図り、行政・企業・学校・地域などと連携して活動できるように支援をします。
- 文化芸術に関する情報の収集・提供を一元化するなど、文化芸術に対するセンター的機能の充実を図ります。
- 福祉、教育、観光・産業振興など、他のジャンルと文化芸術をつなぐ「コーディネーター」の育成をします。
- 古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図ります。
- 施設整備を行い、文化芸術活動しやすい環境づくりに努めます。



今こそ、文化芸術で古賀市を元気にするときです。一人ひとりができるところからアクションを起こしていきましょう。

古賀市文化芸術振興計画 アクションプラン

市民がおこす

団体がおこす

行政がおこす

市民がおこす

団体がおこす

行政がおこす

環境づくり	古賀市の個性を起こす				古賀市の新しい魅力を興す	
	宝をみつけれ 今ある宝を再認識する	眠った宝を起こす	宝をいかす	宝を伝える	宝を守る	人にやさしいまちづくり ざわめきづくり
<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術をいかした生活環境をつくろう。 ●文化芸術をテーマとした意見交流を行い、文化芸術活動を楽しもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内で行われる文化芸術活動に参加しよう。 ●文化、歴史、風景などの古賀市らしい環境を見つけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●先入観にとられず、新しい発想と魅力を日常生活の中で見つけよう。 ●積極的に子どもたちが文化芸術に触れる機会をつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境について話し合おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境を守る活動を広めよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術に関する活動やイベントに家族で参加しよう。 ●文化芸術を通して、世代間交流や国際交流を楽しもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●既成概念にとられず、新しい発想を大切にし、文化芸術の魅力を日常生活にいかし楽しもう。
<ul style="list-style-type: none"> ✳️団体の交流を行い、互いに認め合い、高め合おう。 ✳️文化芸術に関するイベント、団体の活動などの情報を収集し、提供しよう。 ✳️文化芸術活動団体同士の意見交流の場を設け、団体間のネットワークをつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✳️新たな文化芸術活動の取組に挑戦しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✳️文化、歴史、風景など古賀市の環境を活かした文化芸術活動を行おう。 ✳️地域の公民館や身近な施設を活用するとともに、古民家等の利用可能な場所を開拓し、文化芸術活動の場として活用しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✳️文化芸術を身近に感じられる体験講座など、地域に向いた活動を提供しよう。 ✳️屋外での活動や広報の方法など、「見える」文化芸術活動を取り入れよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✳️自治会での文化芸術事業の取組などの情報を共有し、地域での文化芸術の活性化を図ろう。 ✳️団体が行う活動に、障がい者との交流や世代間交流や国際交流などを取り入れよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✳️異なるジャンルの団体との交流を深め、活動内容やエリアを広げ、新たな団体の魅力をつくりだそう。 	
<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️公募型補助金の募集をいかし、文化芸術活動団体の活性化を図ります。 <中期> ✳️文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会をつくりまします。 ✳️文化芸術に関するネットワークづくりを行います。 <長期> ✳️文化芸術に関する情報の収集・提供を一元化するなどの、センターの機能を担う拠点の整備を行います。 ✳️本計画をさまざまな機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️リーバスプラザがなごの文化施設を活用した学習機会を提供します。 <中期> ✳️近隣都市間の文化芸術活動を調査研究し、新たな視点で事業を再生します。 <長期> ✳️文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。 ✳️地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切に文化芸術活動を目指します。 <中期> ✳️文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。 ✳️地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。 <中期> ✳️近隣都市との広域的な連携を図ること、文化芸術活動へいかします。 <長期> ✳️文化財の保存、継承、整備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。 ✳️子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。 <中期> ✳️全ての市民が参加できる、文化芸術の場を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> <短期> ✳️他部局との連携を図り、情報共有し、新しい発想の事業を進めます。 <中期> ✳️観光・産業を文化的資源や文化芸術活動と組み合わせることで、お互いの新たな魅力を発見し、活性化を図ります。 ✳️文化芸術団体の新たな人材育成を進めます。 	

※当該アクションプランは、平成30年度に実施した古賀市文化芸術審議会において古賀市文化芸術振興計画の過去5年分の進捗を確認し、これを踏まえて今後5年を見据えて見直したものです。